

公益社団法人 教育文化協会
2016 年度事業計画
(2016 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日)

I. 基本的考え方

教育文化協会は、1995 年 12 月の設立以来、労働運動を担う人材の育成や労働教育の充実、教育文化活動の振興に取り組んできた。今年度もこうした公益社団法人としての事業目的を踏まえ、今求められている役割を着実に果たしていくことを最優先に、すべての働く人を対象とした労働教育の充実に重点を置きつつ、教育、文化、出版・広報の各事業を積極的に展開していくこととする。

教育事業は、「連合寄付講座」と「Rengo アカデミー・マスターコース」を 2 つの柱として実施し、今日的なニーズに対応するべくそれぞれ質的な充実に努める。

文化事業は、連合との共催による、「連合・ILEC 幸せさがし文化展」と「私の提言」の 2 つの募集事業を引き続き実施し、より多くの応募喚起に向けた広報活動・運営に取り組む。

出版・広報事業は、連合新書として、連合結成以降の労働運動についてわかりやすく記述する『ものがたり平成労働運動史 I (仮称)』の発刊などを行う。広報事業では、ホームページへの「連合寄付講座」の講義要録や「私の提言」の入賞提言、「本と資料の紹介コーナー」での書評などの掲載などにより、労働運動に役立つ情報提供の充実に努める。

II. 事業計画の具体的な展開

1. 教育事業

(1) 「連合寄付講座」

「連合寄付講座」は、これから社会に出る大学生に対して、働くということについて自ら考え、労働組合の役割や労働運動の意義について理解を深めてもらおう目的で、大学の正規の授業科目（単位認定科目：半期 2 単位）として開講している。昨今の若年雇用を取り巻く厳しい状況のもと、働く側の視点に立って現場の課題や労働組合の対応について半年間にわたり様々な角度から学ぶことができる本講座は、今後ますます重要になると考えられ、より多くの大学生にこうした機会を提供できるよう「地方連合会寄付講座」も含め、さらに拡充を図っていく。

教育文化協会が直接運営に関わる「連合寄付講座」は、引き続き 4 大学で実施するとともに、新規開設の可能性についても検討する。具体的な運営は、

各大学の担当教員と連携を図りながら半期もしくは4半期15回の講義プログラムを組み立て、各回の講義では、労働組合役員を中心としたゲストスピーカーを配置してオムニバス形式での講義を行う。講義プログラムの作成にあたっては、学生アンケートなどこれまでの講座実施による蓄積を踏まえ、働くうえでの現代的な課題や労働組合の実相について、大学生がより理解を深められる内容とするように努める。

今年度開講する寄付講座は以下のとおり。

①同志社大学社会学部

2017年度春学期(2017年4月～7月)「働くということー現代の労働組合」

②一橋大学社会学部

2017年度第1～4タームのいずれかで実施 「現代労働組合論」

※一橋大学では2017年度より4学期制を導入する予定。

③埼玉大学経済学部

2016年度第4ターム(2016年11月～2017年1月)

「働くということと労働組合」

※埼玉大学では2016年度より4学期制を導入。

④法政大学キャリアデザイン学部

2016年度秋学期(2016年9月～2017年1月)

「働くということと労働組合」

※3年間の協定が終了するため、2016年9月までに協定を再締結の予定。

(2)「地方連合会寄付講座」開設の促進

地方連合会が主体となって運営する「地方連合会寄付講座」は、現在11大学で開設され、今年度も2大学で開設の予定であるなど、着実に拡がりを見せている。さらなる新規開設に向けて、未開設地方ブロックを中心に、連合本部、当該地方ブロックおよび地方連合会と情報交換などを通じて、積極的に連携をはかる。

既に開講している地方連合会寄付講座については、当該各地方連合会に対して、引き続き財政面、運営面で支援・協力する。また、新規開設予定の地方連合会寄付講座についても円滑に開講できるよう支援・協力する。

①連合山形寄付講座(山形大学人文学部;2016年度後期)

「労働と生活」

②連合東京寄付講座(首都大学東京都市教養学部・人文社会系;2016年度後期)

「人間らしく働くこと・働く者の権利・権利を守ること」

③連合佐賀提供講座(佐賀大学経済学部;2016年度後期)

- 「働くということと労働組合」
- ④ 連合沖縄寄付講座（沖縄大学法経学部；2016年度集中講義）
「沖縄労働論」
 - ⑤ 連合岩手寄付講座（岩手大学人文社会科学部；2017年度前期）
「現代の諸問題－労働問題とワークルール」
 - ⑥ 連合三重提供講座（三重大学人文学部；2017年度調整中）
「働くということと労働組合」
 - ⑦ 連合福井寄付講座（福井県立大学経済学部；2017年度前期）
「ケーススタディで学ぶ労働組合」
 - ⑧ 連合滋賀寄付講座（滋賀大学経済学部；2017年度前期）
「働くこととワークルール」
 - ⑨ 連合山口寄付講座（山口大学経済学部；2017年度前期）
「現代労働論」
 - ⑩ 連合長崎寄付講座（長崎大学もしくは他大学での連携を含めて調整中；
2017年度）
 - ⑪ 連合大分寄付講座（大分大学経済学部；2017年度前期）
「働くということと労働組合」
 - ⑫ 新規開設：連合大阪寄付講座（大阪市立大学経済学部；2016年度後期）
「働くということと労働組合」
 - ⑬ 新規開設：連合広島寄付講座（広島修道大学；2016年度後期）
「働くこととワークルール」

（3）Rengo アカデミー・マスターコース

「Rengo アカデミー・マスターコース」は、労働運動・社会運動を担うリーダーの育成を目的として、前期・後期 2 回の集中合宿を基本に、ゼミナールも行いながら、担当講師の指導のもと修了論文をまとめて 1 年間で修了するプログラムである。マスターコース修了後、受講生はそれぞれの立場で労働運動、社会運動の一翼を担うなど、活躍している。

第 16 回マスターコースの開講にあたっては、現行の講座運営を基本としながら、これまでの実績（15 回の開講で計 366 名が受講）から得られた経験・反省を踏まえつつ、受講生や会員組織等からの今日的な要望・期待に応えられるよう努める。

また、マスターコース修了後も修了生同士の連携を深められるようなネットワークづくりを支援する。

- ① 「Rengo アカデミー・第 15 回マスターコース」

第15回マスターコースは、5月の後期合宿を終了し、今後7月初旬に受講生からの修了論文の提出、教務委員長による修了論文の監修を経て、2016年9月29日（木）に联合会館にて修了式を行う。あわせて、第15回マスターコース修了論文集を作成、頒布する。

②「Rengo アカデミー・第16回マスターコース」

第16回マスターコースは、2016年11月中旬より開講する。第16回マスターコースの学事日程および講座内容等については、7月中旬開催予定のRengo アカデミー・マスターコース運営委員会・教務委員会合同会議で検討・確認したのち募集要項を作成し、2016年8月25日より受講生募集を開始する。第16回においても、受講生出身組織の送り出しやすさと受講生本人の参加しやすさに留意しつつ、運営委員や教務委員、受講生等の意見も踏まえて、合宿期間中のプログラム内容などの効果的な編成に努め、より多くの受講生の参加を促す。

<第16回の予定>

受講生募集：2016年8月25日（木）～10月6日（木）

合宿日程：前期2016年11月20日（日）～25日（金）

後期2017年5月14日（日）～19日（金）

（4）専門講座

労働法講座（基礎コース）は今年度も連合総合労働局より受託し実施する。

○第11回労働法講座（基礎コース）（連合労働法制対策局より受託）

開催時期 2016年10月中下旬（2日間）

開催場所 東京

（5）労働運動を担う人材育成のための教育活動の支援

連合本部と連携して、2007年に作成した「専門家リスト<第3版>」を「教育活動サポートのための講師リスト」として全面的なリニューアルをすすめるとともに、定期的にリストのメンテナンスをはかる。これに関して、Rengo アカデミー・マスターコースの講師陣や連合寄付講座の担当教員を中心にリスト化し、会員組織等からの講師紹介ニーズに供することとする。

さらなる教育活動の支援については、会員組織等と連携を図りつつ、労働教育や人材育成に対する基本的考え方やニーズを踏まえ、検討を進める。

（6）「ワークルール検定」への支援・協力

働く上で知っておくべきワークルールについて、広く普及・定着をはかる

趣旨に賛同し、一般社団法人「日本ワークルール検定協会」の一員として参画し、「ワークルール検定」の企画・運営に協力する。

(7) セミナー・シンポジウムへの開催協力

会員組織等と連携し、時宜にかなったテーマのセミナー等の開催に協力する。

2. 文化事業

(1) 「第10回連合・ILEC 幸せさがし文化展」募集事業の実施

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、日頃から創作活動に励んでいる働く仲間とその家族が作品を発表できる場として、連合と共催で2年に1度、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門で取り組んでいる。今年度は、「第10回」という節目の文化展の実施に向けて、会員組織のメンバーで構成する第1回幸せさがし文化展実行委員会（2016年7月15日開催予定）において、実施要領を協議・確認した後、作品募集および審査を実施する。受賞作品については、2017年10月の第15回連合定期大会において表彰式を行い、同定期大会会場等で展覧会を開催する。

(2) 「私の提言」募集－第13回募集・審査、第14回募集

「私の提言」は、2004年度から連合が継承した「山田精吾顕彰会の論文募集」事業を、連合との共催で「私の提言」募集事業として取り組んでいる。第8回（2011年度）からは、「私の提言—『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて」募集として取り組んでいる。第13回「私の提言」募集は、現在応募数の増に向けた広報活動に取り組みながら8月18日まで募集をおこなっており、その後の提言運営委員会での審査を経て、10月14日の第73回連合中央委員会で、入賞者の表彰と提言要旨の発表を行う。

第14回「私の提言」募集については、提言募集運営委員会にて募集要項を協議・確認し、2017年3月の連合中央執行委員会の確認を経て、募集を開始する。

<第13回「私の提言」募集事業 今後の日程>

- 募集期間 2016年3月3日～8月18日
- 応募提言の審査 2016年9月9日 第2回「私の提言」運営委員会
- 入賞提言の発表 2015年9月16日 I L E C ホームページにて発表
- 入賞者表彰および提言要旨の発表 2016年10月14日<予定> (第73回連合中央委員会)

○入賞提言集の発行（ホームページにおいても入賞提言の全文を掲載）

3. 出版・広報事業

(1) 連合新書『ものがたり平成労働運動史第1巻（仮称）』の刊行

連合新書 No.1～10『ものがたり戦後労働運動史 I～X』の「続編」として、連合結成以降の労働運動に関する連合新書『ものがたり平成労働運動史（仮称）』をシリーズ化して刊行する。今年度は、第1巻を刊行するとともに、第2巻以降に向けて、順次関係者へのヒアリング等をすすめる。

(2) Rengo アカデミー・マスターコース講義録の作成

第16回マスターコースの講義の中から、幅広い活用に資するテーマを選定して講義録を作成し、頒布する。

(3) 『連合運動史第5巻』の編集・発刊

連合から事業受託している『連合運動史第5巻』（対象期間；2009年10月～2014年9月）の編集作業に取り組み、刊行する。

(4) 「連合寄付講座」講義要録のホームページへの掲載

同志社大学、一橋大学、埼玉大学における連合寄付講座の講義要録を各大学と連携して作成し、大学とILECのホームページにそれぞれ掲載する。

(5) 労働関係書籍の紹介－「本と資料の紹介コーナー」

労働運動や労働組合の分野で読んで欲しい本や経済社会問題の重要な文献について、書評委員会（主査：高木郁朗日本女子大学名誉教授）を開催し、「おすすめ本」「議論を深める」「ルーツを求めて」「連合とそのまわりの刊行物」の分類で選定・検討し、その内容を書評としてホームページに掲載する。今年度も、定期的な書籍紹介を継続するとともに、当該ホームページをより閲覧してもらうための方策を検討する。

(6) ILEC 通信の発行とメールマガジンの配信

ILEC 通信は、例年同様に、年4回の発行を行う。また、メールマガジンについても、事業活動の紹介や各種募集案内を中心に、随時、配信する。

以上